

Magnescale

PROFINET インターフェイスモジュール

MG80-PN

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、このマニュアルを必ずお読みください。
ご使用に際しては、このマニュアルどおりお使いください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともございますので、必ず保管してください。

操作マニュアル

目次

目次.....	1
改訂履歴	2
1. はじめに	3
2. 基本情報	4
2.1. システム構成	4
3. 設定	5
3.1. 設定アプリと GSDML ファイルのダウンロード.....	5
3.2. IO データについて	5
3.3. 各種パラメータの設定.....	5
3.3.1. 接続	6
3.3.2. 設定方法.....	7
3.3.3. MG80-PN の再起動.....	13
4. 本体仕様	14
4.1. インターフェイス仕様	14
4.2. LED 表示	15
5. 機能	17
5.1. 機能一覧	17
5.2. フレームの定義	18
5.3. 機能詳細	19
5.3.1. ピークホールド.....	19
5.3.2. ポーズ	20
5.3.3. スタート.....	20
5.3.4. リセット.....	20
5.3.5. プリセット.....	20
5.3.6. マスタープリセット.....	20
5.3.7. コンパレータ.....	21
5.3.8. 加減算機能	21
5.3.9. I/O モジュール制御.....	22
6. 通信	23
6.1. PROFINET 機器(IO コントローラ)との通信	23
6.1.1. RT(Real-time)通信.....	23
6.1.2. NRT(Non Real-time)通信.....	33
6.1.3. NRT 通信コマンド一覧.....	34
7. 付録	55
7.1. パラメーター一覧.....	55

改訂履歴

Revision	Date	Description	Pages
1.00	2020/07/27		All
1.01	2020/10/28	誤記訂正と追記	All

1. はじめに

MG80-PN は、PROFINET 経由で PC や PLC と接続することで簡単に多軸の計測データを取得できるインターフェイスユニットメインモジュールです。

既存製品 MG70-PN と互換性がありますので、これまで MG70-PN をご使用の場合、MG70-PN で使用されたプログラム環境は継続使用可能です。

本マニュアルでは、機能の詳細や通信の設定方法について説明します。

MG80-PN や MG80-CM、LZ80 に関しては、各機器の付属取扱説明書をご参照ください。

また、PROFINET の基本的な情報に関しては、各 PLC メーカーのマニュアルをご参照ください。

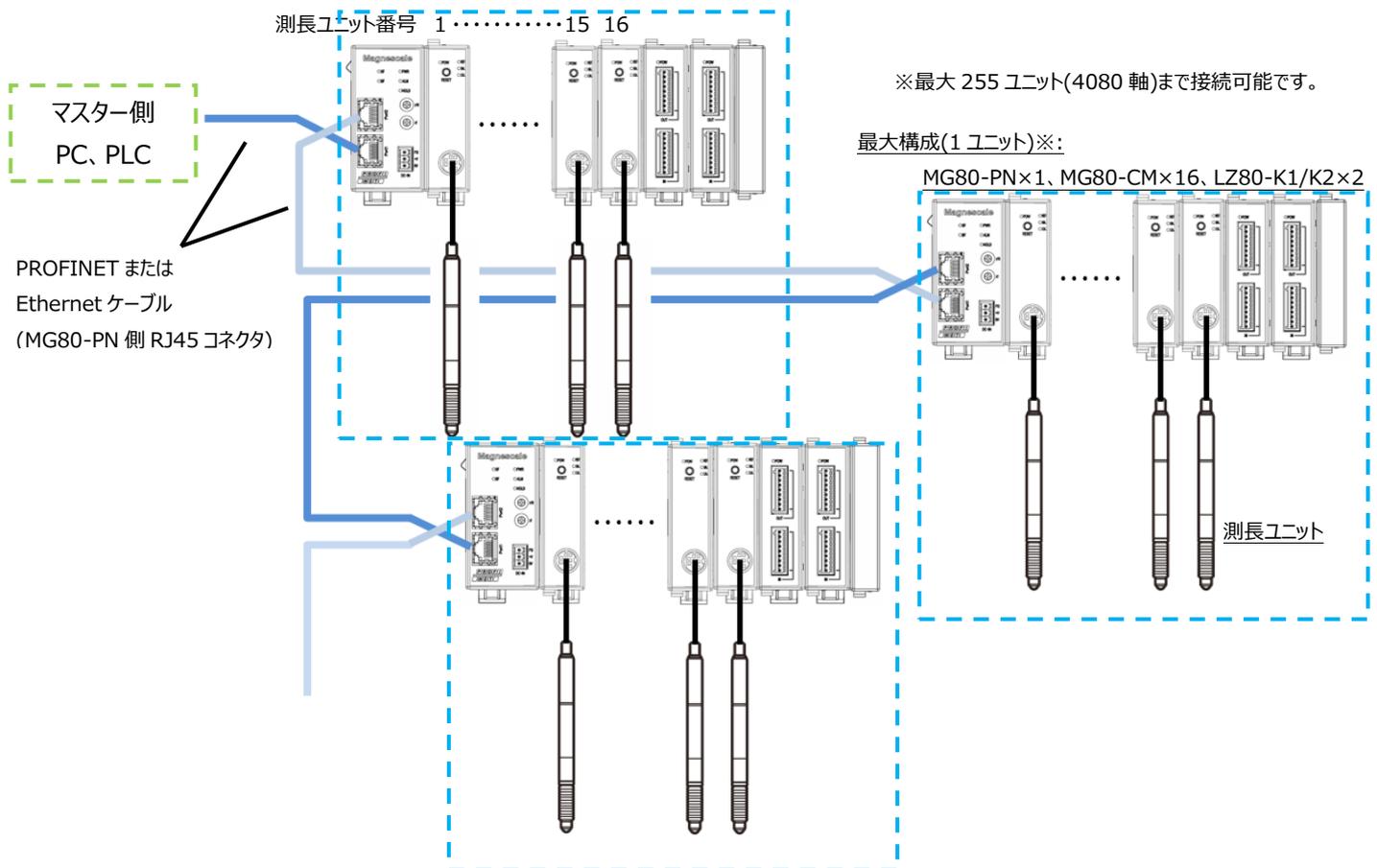
2. 基本情報

PROFINET では、マスターデバイスは「IO コントローラ」と呼ばれ、スレーブデバイスは「IO デバイス」と呼ばれます。MG80-PN は IO デバイスに属します。

本節では、MG80-PN および各種接続機器の接続構成を説明します。

2.1. システム構成

MG80-PN には測長ユニットを接続するためのカウンタモジュール MG80-CM、構成するユニット内の操作や出力を外部信号で制御できる I/O モジュール LZ80-K1/K2 が接続可能です。



- MG80-PN 1 台にカウンタモジュール MG80-CM が最大 16 台接続可能です。
- MG80-CM に測長ユニット DK シリーズを接続します。
- 測長ユニット番号は MG80-PN に一番近いものから順に 1 から自動で割り付けられます。
- PROFINET または Ethernet 接続には、RJ45 (8P8C) コネクタ付きシールドケーブルをお客様でご用意ください(ストレート・クロス両方使用可)。
- 接続可能ユニット数は IP アドレスの下位 1 バイトが設定可能な 1(0x01)から 255(0xFF) の内、使用可能な数に依存されます。IP アドレスが 2 から 255 を使用可能な場合、最大 255 ユニット (4080 軸)接続可能です。
- マスター側及び上位側との PROFINET 接続は必ず Port1 をご使用ください。

3. 設定

3.1. 設定アプリと GSDML ファイルのダウンロード

1. Magnescale Web サイト (<https://www.magnescale.com/mgs/index.html>) にアクセス、
「製品情報」
→「Digital Gauge」
→「MG80-NE/EI/PN MG80-CM」
→「ソフトウェア」
と選択し
「Windows PC 用設定アプリ」から設定アプリをダウンロードしてください。

同様に

- 「製品情報」
→「Digital Gauge」
→「MG80-NE/EI/PN MG80-CM」
→「ソフトウェア」
と選択し
「設定ファイル」から GSDML ファイルをダウンロードしてください。
GSDML ファイルは各社 PLC メーカーや軸数に関係なくご使用いただけます。

2. 適当な場所に保存し、解凍ソフトウェアによって展開してください。

3.2. IO データについて

GSDML ファイルを開発環境に取り込むと、IO データは Byte 配列データとして取り扱われます。
IO データのマッピングについては、本文の“6.通信” 頁をご参照ください。

3.3. 各種パラメータの設定

本機は“ Windows PC 用設定アプリ”を使用することで PC から MG80-PN の各種設定が可能です。

3.3.1. 接続

1. “Windows PC用設定アプリ”の準備
ダウンロードした“MG80SettingTool.exe”ファイルを任意の場所においてください。
2. “Windows PC用設定アプリ”をインストールしたPCのIPアドレスを下記の設定とします。

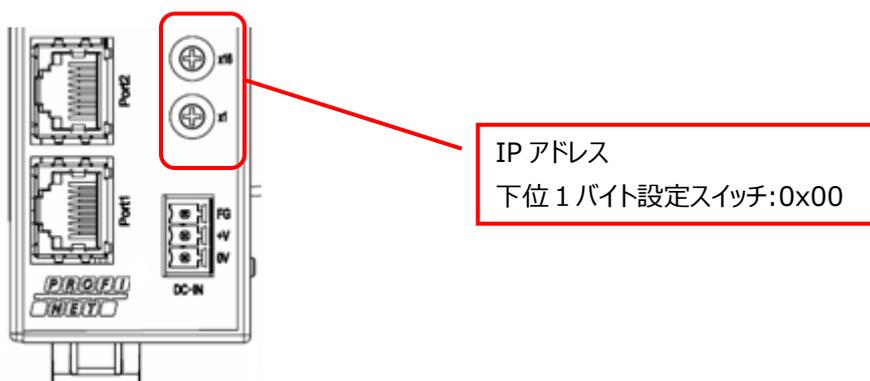
IP アドレス : 192.168.100. XXX^{※1}
サブネットマスク値 : 255.255.255.0

※1 XXX に設定できないアドレス

- ・ 1 (設定モードアドレスのため)
- ・ 接続されている他の機器と同じアドレス

3. MG80-PNの設定スイッチを“0x00”にします。設定モードとなりPCと通信可能になります。
この場合、IPアドレスは以下に固定されます。

IP アドレス : 192.168.100.1
サブネットマスク値 : 255.255.255.0



4. “Windows PC用設定アプリ”をインストールしたPCとMG80-PNをイーサネットケーブルで直接繋が
ます。
電源を接続してMG80-PNを起動させます。



5. “Windows PC用設定アプリ”をインストールしたPCで“MG80SettingTool.exe”をクリック
してアプリを起動します。

3.3.2. 設定方法

Windows PC 用設定アプリを使用して各種運用パラメータを設定してください。

Windows PC 用設定アプリ「MG80ModuleSettingTool.」を起動すると以下の画面になります。

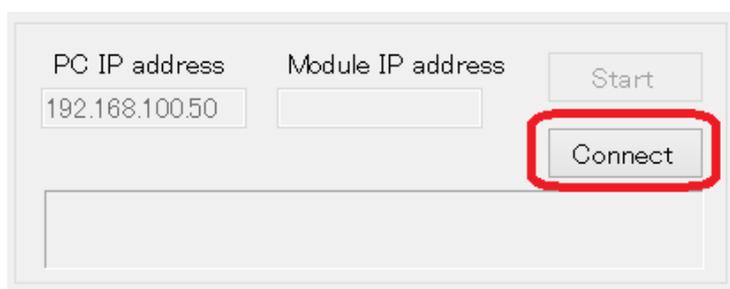


以下の手順で Windows PC 用設定アプリと接続します。

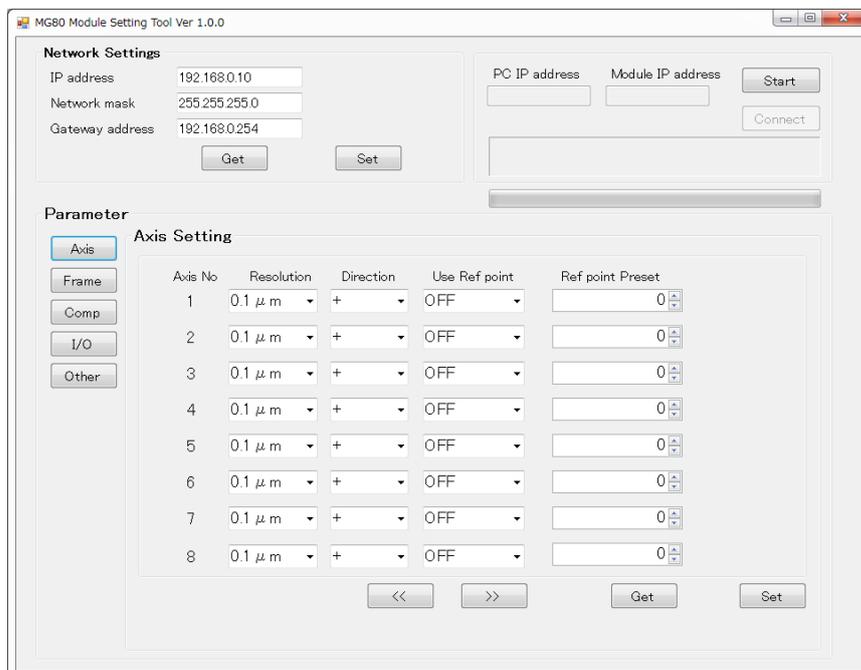
- ① 設定アプリの右上にある[Start]ボタンを押下して下さい。



- ② 設定アプリの右上にある[Connect]ボタンを押下して下さい。



- ③ 接続に成功すると、ネットワーク設定欄、パラメータ設定欄が有効になります。

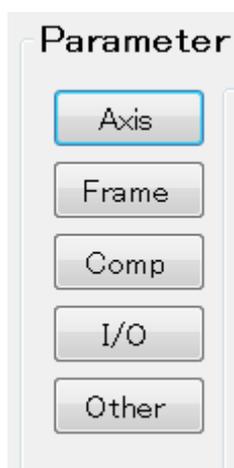


※接続に失敗したら、MG80-PN の電源を OFF し設定アプリ起動から、やりなおして下さい。

3.3.2.1. 測定パラメータの設定

以下のパラメータ設定欄が有効になっていることを確認します。

※有効になっていない場合は、前項の接続手順をやりなおして下さい。

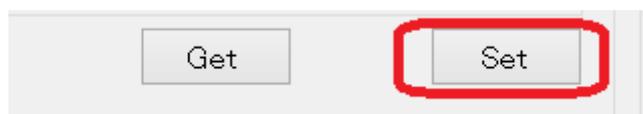


各パラメータ画面において、複数ページある場合は、ページ送りボタンでページ切り替えます。



各パラメータ画面にて、それぞれパラメータを設定後、画面下部にある[Set]ボタンをクリックでMG80-PN へパラメータが送信され保存されます。

注意) “Set”ボタンをクリックしないと MG80-PN には保存されませんので必ず各画面で実行してください。



各パラメータ画面にて、画面下部にある[Get]ボタン押下すると、現在、MG80-PN に保存されているパラメータを取得できます。



設定項目

No	設定画面名 (パラメータ名)	内容
1	Axis (Axis Setting)	軸毎の入力分解能、方向、原点使用の有無、マスタープリセット値の設定が可能です。
2	Frame (Frame Setting)	フレーム毎の軸演算設定、出力種別、プリセット値の設定が可能です。
3	Comp (Comparator Setting)	フレーム毎のコンパレータ閾値設定、段数モード、コンパレータ使用組番号の設定が可能です。
4	I/O (I/O Setting)	I/O モジュールの入力または出力端子の各ビット毎の機能設定が可能です。
5	Other (Other Setting)	上記以外の項目の設定が可能です。

(1) Axis Setting 画面

Parameter
Axis Setting

Axis No.	Resolution	Direction	Use Ref point	Ref point Preset
1	0.1 μm	+	OFF	1000
2	0.1 μm	+	OFF	2000
3	0.1 μm	+	OFF	3000
4	0.1 μm	+	OFF	5000
5	0.1 μm	+	OFF	1000
6	0.1 μm	+	OFF	2000
7	0.1 μm	+	OFF	5000
8	0.1 μm	+	OFF	10000

原点プリセット値(単位:0.1μm)

軸番号

プルダウンで選択します。
Resolution:入力分解能(0.1, 0.5, 1.0, 2.0, 5.0, 10.0μm)
Direction: カウント方向
Use Ref point: 原点使用の有無

(2) Frame Setting 画面

Parameter
Frame Setting

Frame	Ope1	Main Axis No.	Ope2	Sub Axis No.	Mode	Preset
A	+	Axis1 val	+	Axis2 val	Real	0
B	+	Axis3 val	+	Axis4 val	Real	0
C	+	Axis1 val	nan	nan	Real	0
D	+	Axis1 val	nan	nan	Real	0
E	+	Axis1 val	nan	nan	Real	0
F	+	Axis1 val	nan	nan	Real	0
G	+	Axis1 val	nan	nan	Real	0
H	+	Axis1 val	nan	nan	Real	0

プリセット値(単位:0.1μm)

フレーム番号

プルダウンで選択します。
例 1: 1軸 + 2軸 現在値
Ope1(+), Main Axis No.(Axis1 val), Ope2(+), Sub Axis No.(Axis2 val),Mode(Real)
例 2: 3軸 + 4軸 現在値
Ope1(+), Main Axis No.(Axis3 val), Ope2(+), Sub Axis No.(Axis4 val),Mode(Real)

(3) Comparator Setting 画面

The screenshot shows the 'Comparator Setting' interface. On the left, there are navigation buttons: 'Axis', 'Frame', 'Comp', 'I/O', and 'Other'. The main area is titled 'Comparator Setting' and contains several controls:

- 'Frame A' is selected, with a callout '設定するフレームの選択' (Selection of the frame to be set).
- 'Steps 4' is selected, with a callout '段数設定(2 段/4 段)' (Step setting (2 steps/4 steps)).
- 'Select Group Number 3' is selected, with a callout '選択したフレームにセッとする組番号の選択' (Selection of the group number to be set for the selected frame).
- A table of comparator settings for groups C1, C2, C3, and C4 across 8 groups. The values are:

Group Number	C1	C2	C3	C4
1	100000	200000	300000	400000
2	120000	220000	320000	420000
3	123456	234567	345678	456789
4	156789	256789	356789	456789
5	111111	222222	333333	444444
6	150000	180000	180500	200000
7	200000	200500	201000	201500
8	200	1000	2000	5000
- Navigation buttons '<', '>', 'Get', and 'Set' are at the bottom.

Callouts provide additional instructions:

- 'コンパレータ設定の組番号' (Comparator setting group number) points to the Group Number list.
- 'コンパレータ設定
アップダウンのクリックまたはキー数値入力します。
(単位:0.1μm)' (Comparator setting
Click the up/down arrow or enter a key value.
(Unit: 0.1μm)) points to the value input fields.

(4) I/O Setting 画面

The screenshot shows the 'I/O Setting' interface. On the left, there are navigation buttons: 'Axis', 'Frame', 'Comp', 'I/O', and 'Other'. The main area is titled 'I/O Setting' and contains two modules, IO1 and IO2, each with an 'Input' and 'Output' column. The values are:

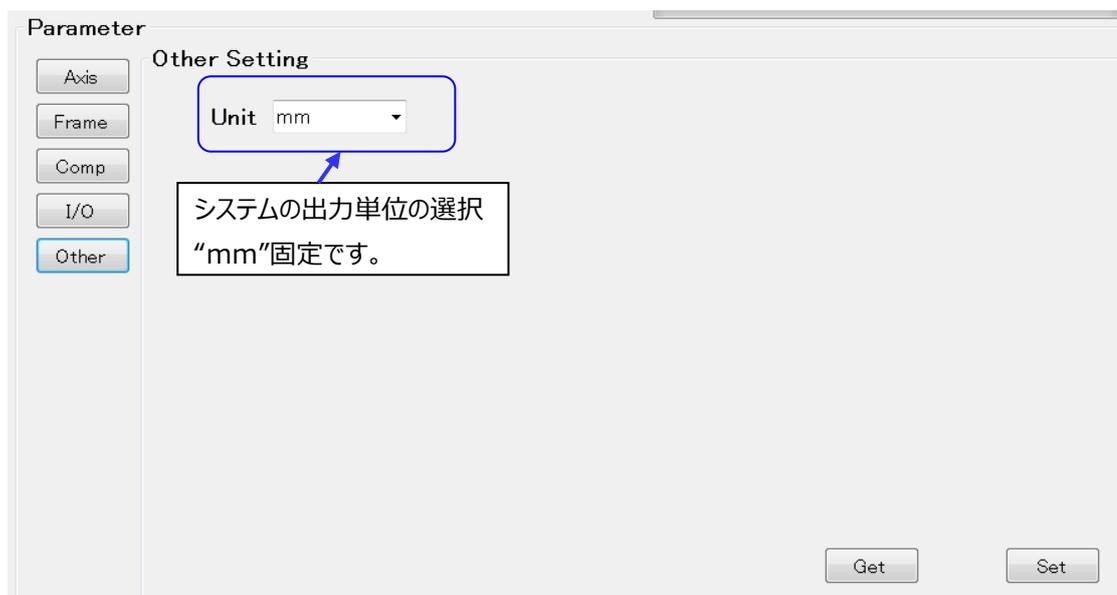
Module	Bit	Input	Output
IO1	b7	0:Addr0	0:Drdy
	b6	1:Addr1	6:Alarm
	b5	2:Addr2	1:CompOut0
	b4	3:Addr3	2:CompOut1
	b3	4:Dreq	3:CompOut2
	b2	8:Reset	4:CompOut3
	b1	D:Start	5:CompOut4
	b0	E:Pause	7:OrgPass
IO2	b7	X:NoFunc	X:NoFunc
	b6	X:NoFunc	X:NoFunc
	b5	X:NoFunc	X:NoFunc
	b4	X:NoFunc	X:NoFunc
	b3	X:NoFunc	X:NoFunc
	b2	X:NoFunc	X:NoFunc
	b1	X:NoFunc	X:NoFunc
	b0	X:NoFunc	X:NoFunc

Callouts provide instructions:

- 'I/O モジュール 1 台目の入出力設定
プルダウンで選択します。' (I/O module 1 input/output setting
Select with pull-down.) points to the IO1 settings.
- 'I/O モジュール 2 台目の入出力設定
プルダウンで選択します。' (I/O module 2 input/output setting
Select with pull-down.) points to the IO2 settings.

A 'Set' button is located at the bottom right.

(5) Other Setting 画面



3.3.3. MG80-PN の再起動

1. 全てのパラメータの設定・保存が終了したら、電源を落とします。
2. 実際の測定で使用する IP アドレスは PLC より設定するため 0x00 以外の値を本体の設定スイッチでセットします。
3. 電源を再起動することで設定したパラメータで動作します。

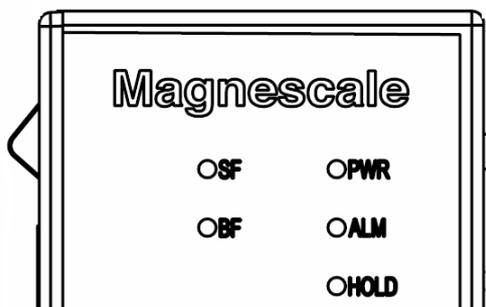
4. 本体仕様

4.1. インターフェイス仕様

項目			仕様						
スイッチ及び表示	設定	IP アドレス設定	設定スイッチ×2 個 (16 進出力 8bit) <table border="1" data-bbox="820 506 1474 734"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0x00</td> <td>「設定モード」 IP アドレスは、192.168.100.1 固定</td> </tr> <tr> <td>0x01 ～ 0xFF</td> <td>「測定時の IP アドレス設定」は PLC 等で設定するので 0x02～0xFF のいずれかの設定を してください。</td> </tr> </tbody> </table>	設定値		0x00	「設定モード」 IP アドレスは、192.168.100.1 固定	0x01 ～ 0xFF	「測定時の IP アドレス設定」は PLC 等で設定するので 0x02～0xFF のいずれかの設定を してください。
	設定値								
0x00	「設定モード」 IP アドレスは、192.168.100.1 固定								
0x01 ～ 0xFF	「測定時の IP アドレス設定」は PLC 等で設定するので 0x02～0xFF のいずれかの設定を してください。								
表示	LED ランプ状態	4.2 LED 表示参照							
通信 I/F	LAN コネクタ		RJ-45×2 個 (100BASE-TX) シールド付き						
		PROFINET 通信	<ul style="list-style-type: none"> ・測長ユニットから取得したカウント値とエラーステータス、演算結果を送信します。 ・上位装置からの指令を受信します。 ・通信規格は、PROFINET の仕様になります。 						
		TCP/IP 通信	<ul style="list-style-type: none"> ・設定スイッチ“0x00”設定時は IP アドレスが 192.168.100.1 固定され、TCP/IP にて通信を行う「設定モード」となります。 「設定モード」では、“Windows PC 用設定アプリ”にて、運用パラメータを設定できます。 						
電源入力	FG ×1 +V ×1 0V ×1	端子台×1 (3 極)	MG80-PN に接続するモジュール、測長ユニット全てはこの電源から供給されます。						

4.2. LED 表示

インターフェイスモジュールの LED 表示を以下に記述します。



PWR 電源ランプ : 本モジュールの動作状態を表示します。

色	状態	内容
緑	消灯	電源 OFF
	点灯	電源 ON 後動作準備完了

ALM アラームランプ : 全モジュールのアラーム状態を表示します。

色	状態	内容
赤	消灯	正常動作
	点灯	いずれかのモジュールでアラームが発生した場合、点灯。

HOLD ホールドランプ : HOLD 状態を表示します。

色	状態	内容
橙	消灯	全てのカウントデータが HOLD 解除
	点灯	いずれかのカウントデータが HOLD 状態

SF システムステータスランプ : PROFINET 規格に準じた接続状態を表示します。

色	状態	内容
–	消灯	電源 OFF または通信接続なし
緑	点灯	通信接続状態

BF バスエラーランプ : PROFINET 規格に準じた接続エラー状態を表示します。

色	状態	内容
–	消灯	電源 OFF または通信エラーなし
赤	点灯	通信エラー発生

通信ポートのリンク状態 LED

通信ポート 2 のリンク状態を表示します。

色	状態	内容
緑	消灯	リンク未確立
	点灯	リンク確立

通信ポート 2 のリンク速度を表示します。

色	状態	内容
橙	消灯	通信速度異常
	点灯	通信速度正常

通信ポート 1 のリンク状態を表示します。

色	状態	内容
緑	消灯	リンク未確立
	点灯	リンク確立

通信ポート 1 のリンク速度を表示します。

色	状態	内容
橙	消灯	通信速度異常
	点灯	通信速度正常

5. 機能

5.1. 機能一覧

項目		内容
条件等		
モジュール構成		
システム全体		PROFINET ネットワーク経由で MG80-PN を 255 ユニットまで拡張可能(4080 軸)
接続可能 モジュール数		カウンタモジュール MG80-CM : 1~16 台 (測長ユニット 1~16 軸) I/O モジュール LZ80-K1/K2 : 最大 2 台
分解能		
測長ユニット入力分解能		0.1μm/0.5μm/1μm/2μm/5μm/10μm
データ取り込み能力		
10Mbps		最大 10000 データ/秒
データ形式		符号・小数点付き 7 桁固定長 (上位ゼロサプレス)
ピークホールド機能		各フレームの最大・最小・P-P 値を演算
		ポーズ期間中はピーク値更新をしない
		スタートによりピーク値再計算開始
出力データタイプ		
単軸		各軸の現在値、最大値、最小値、P-P 値
加減算時		2 軸加減算の現在値、最大値、最小値、P-P 値
コンパレータ		各フレーム※の計測データを比較して、コンパレータ結果を出力する
段数		2 段 / 4 段
組数		8 組
リセット		カウント値をゼロリセット
原点		測長ユニットの原点使用時、原点を基準値として使用する。
プリセット		設定値にプリセット
マスタープリセット		設定値にマスタープリセット
I/O モジュール		I/O モジュールの各端子に任意の機能を割り当てることができる。割り当てた端子機能に応じた動作を行う。

※ フレームとは測長ユニットの測定値や演算値をあらかじめ用意された枠に設定してコマンドで呼び出せる機能です。詳細を次頁 5.2 に記載します。

5.2. フレームの定義

フレームとは軸演算、現在値、P-P 値、最大値、最小値を自由に選択して出力値とする

1 つの構成単位です。

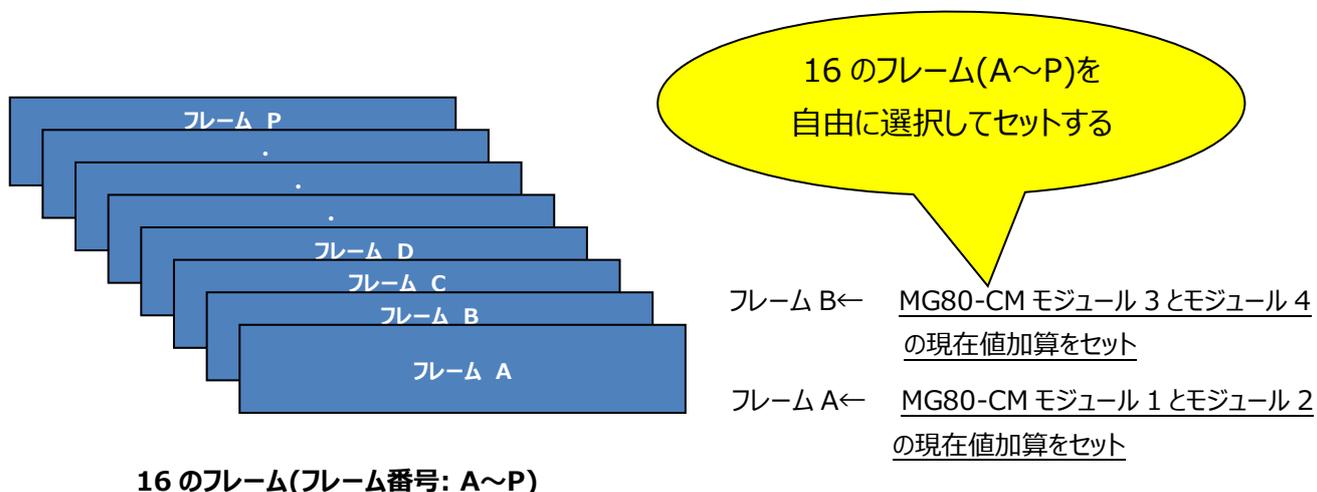
1 ユニット毎(最大接続構成:MG80-PN×1、MG80-CM×16、LZ80-K1/ K2×2)に最大 16 のフレームがセット可能です。

16 のフレームはそれぞれ A～P のフレーム番号と呼びます。

この各フレームは PROFINET の RT 通信として読み出すことができます。

あらかじめ各フレームにどのような出力値とするかセットしておくことで測定時に任意のタイミングで読み出すことができます。

以下に設定例を示します。



このように出力の内容を自由に選択してセットすることが可能でこの 1 つの出力構成をフレームと定義します。

フレームのセット方法は Windows PC 用設定アプリで各種運用パラメータとして設定可能です。

フレームは MG80-CM の接続数に関わらず 1 以上 16 以下で自由にセット可能です。

例えば同じセット内容を複数のフレームへセットすることも可能です。

(注意)

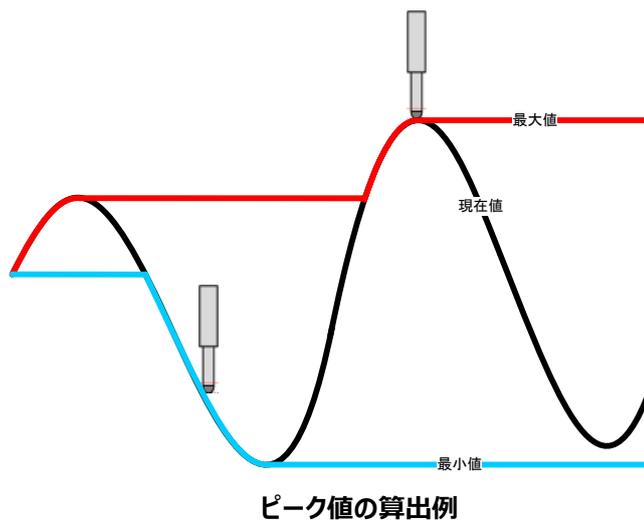
- ・フレーム A とフレーム B の加算など、異なるフレーム間での演算はできません。
- ・演算機能は 1 ユニット内 (MG80-PN に接続されている MG80-CM) のみで使用可能です。

5.3. 機能詳細

5.3.1. ピークホールド

各フレームのピーク値（最大値・最小値・P-P 値）を常時保持します。

ピーク値の算出例を以下に示します。下図のように左から右へ測長ユニットが動くとき黒線部分が現在値となります。



現在値を取得する度に、以下の2式を満たすように値を更新してRAMに記憶します。

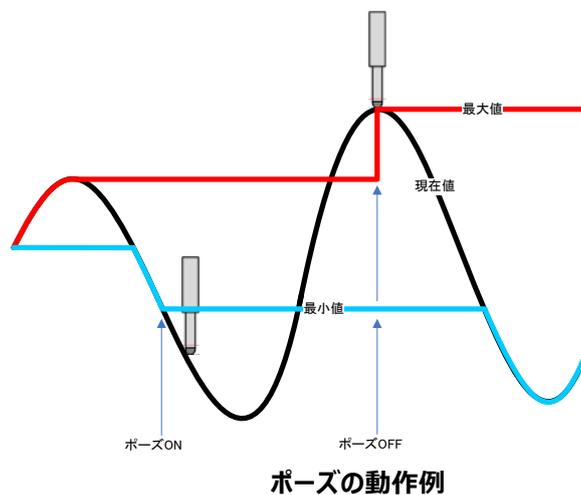
$$\text{最小値} \leq \text{現在値} \leq \text{最大値}$$

$$\text{P-P 値} = \text{最大値} - \text{最小値}$$

5.3.2. ポーズ

指示されたフレームの現在値および、その値に対するコンパレータ出力とピーク値を保持する機能です。

ポーズ On/Off 状態により、ピーク値の遷移は下図のようになります。



5.3.3. スタート

指定したフレームのピーク値の測定を開始します。

(最大値・最小値は現在値を、P-P 値は 0 を設定します。)

5.3.4. リセット

指示されたフレームの測定値を 0 にします。

5.3.5. プリセット

入力した任意の値をプリセットします。

5.3.6. マスタープリセット

測長ユニットの原点を使用することで、電源再起動時に絶対値として位置を再現できます。

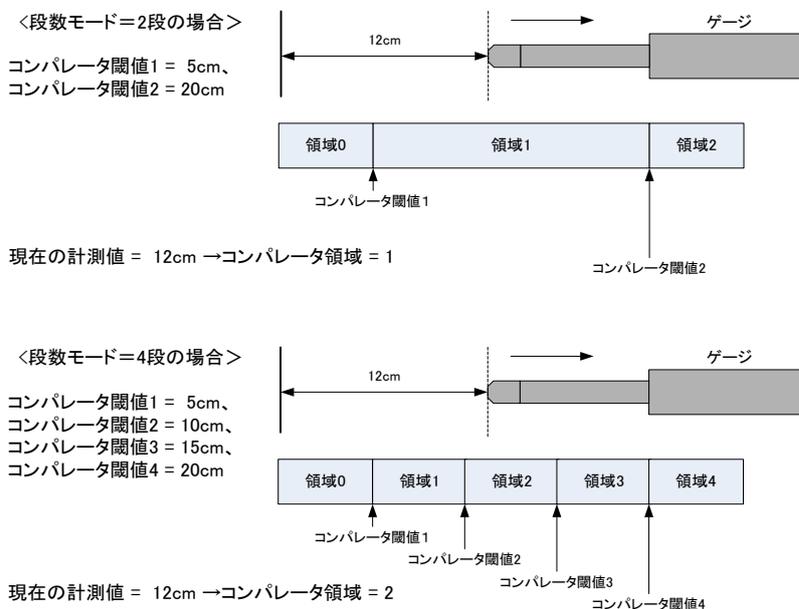
マスタープリセットの手順は以下のとおりとなります。

1. あらかじめマスタープリセット機能を ON します。
2. 電源を投入し、測長ユニットの原点を通過させます。
3. 測長ユニットをマスターとなるワークに合わせます。
4. マスター値設定コマンドによりマスター値を設定します。

一度設定を行うと、次回電源投入時からは、測長ユニットのスピンドルを動作させ原点を通過することで、自動的にマスター値を設定します。

5.3.7. コンパレータ

設定したフレーム毎に2つまたは4つ（2段/4段）の閾値を最大8組まで設定可能です。
設定した領域ごとに判定値を出力します。
コンパレータ組番号設定コマンドにより、組の指定が可能です。
以下に、各段数設定時のコンパレータ判定の例を示します。



コンパレータ判定例

5.3.8. 加減算機能

2つの測長ユニットの測定値の加減算が可能です。
演算結果は、フレーム毎の測定データ（現在値）として出力されます。
最大16フレームまで設定可能です。

計算式を下記示す。

軸演算結果（現在値）

$$= \text{＜符号1＞ 軸演算測長ユニット①} + \text{＜符号2＞ 軸演算測長ユニット②}$$

（例）

軸演算測長ユニット①の測定値 = 10[μm]、軸演算測長ユニット②の測定値 = 5[μm]

演算設定：符号1 = +、符号2 = -

軸演算後の測定値（現在値） = (+10) + (-5) = 5[μm]

5.3.9. I/O モジュール制御

接続されたI/Oモジュールの入力端子と出力端子に機能を割り当てる事が可能です。

割り付けた入力端子の信号状態に応じて、メインモジュールのコンパレータ判定などの演算状態を変化させ、出力端子の信号出力を制御できます。以下に、機能と詳細説明を記述します。

I/O 入力端子の機能割付け

機能	内容
データクエスト入力信号 (1ビット)	この信号を、Lowレベル時にすると、下記ビットに割り当てた情報を取得し変更を行います。
対象フレーム番号 (4ビット)	このビットで指示されたフレーム番号の設定を変更します。 ※対象フレーム番号 = A~P (設定する4bitは、0000b~1111b)
コンパレータ組番号 (3ビット)	上記で指示された対象フレーム番号の「コンパレータ組番号」設定を変更します。 ※コンパレータ組番号=1~8 (設定する3bitは、000b~111b)
出力データ種別 (2ビット)	上記で指示されたフレーム番号の「出力データ種別」設定を変更します。 ※出力データ種別 00b : 現在値 01b : 最大値 10b : 最小値 11b : P-P値

I/O 出力端子の機能割付け

機能	内容
データレディ出力信号 (1ビット)	出力端子に各情報出力する際に、このビットに割り当てた信号がLowレベルになります。
コンパレータ領域出力情報 (5ビット)	データレディ出力信号が、Lowレベルになった時、このビットに割り当てたコンパレータ領域出力情報を、出力端子へ出力します。
アラーム出力信号 (1ビット)	データレディ出力信号が、Lowレベルになった時、このビットに割り当てたアラーム出力情報を、出力端子へ出力します。

6. 通信

6.1. PROFINET 機器(IOコントローラ)との通信

MG80-PNは、PROFINET規格の通信をサポートしており、以下のRT(Real-time)通信とNRT(Non Real-time)通信の機能があります。

6.1.1. RT(Real-time)通信

MG80-PN は、PROFINET 規格の RT 通信をサポートしており、IOコントローラ（PROFINET 機器の PLC） とリアルタイム通信を行います。

IOデータ(Output)構造詳細 (34 byte)

種別	オフセット		変数型	ラベル	備考
	バイト	ビット			
Output	0	0	BOOL	IF1.ST2.BW_QuitChannel_A	MG70-PNは使用、MG80-PNは未使用 "0"出力します。
		1	BOOL	IF1.ST2.BW_QuitChannel_B	
		2	BOOL	IF1.ST2.BW_QuitChannel_R	
		3~7	-	-	
	1	0	BOOL	IF1.ST2.Encoder01Reset	
		1~7	-	-	
	2	0	BOOL	IF1.ST3.BW_QuitChannel_A	
		1	BOOL	IF1.ST3.BW_QuitChannel_B	
		2	BOOL	IF1.ST3.BW_QuitChannel_R	
		3~7	-	-	
	3	0	BOOL	IF1.ST3.Encoder01Reset	
		1~7	-	-	
	4	0	BOOL	IF1.ST4.BW_QuitChannel_A	
		1	BOOL	IF1.ST4.BW_QuitChannel_B	
		2	BOOL	IF1.ST4.BW_QuitChannel_R	
		3~7	-	-	
	5	0	BOOL	IF1.ST4.Encoder01Reset	
		1~7	-	-	
	6	0	BOOL	IF1.ST5.BW_QuitChannel_A	
		1	BOOL	IF1.ST5.BW_QuitChannel_B	
		2	BOOL	IF1.ST5.BW_QuitChannel_R	
		3~7	-	-	
	7	0	BOOL	IF1.ST5.Encoder01Reset	
		1~7	-	-	
	8	0	BOOL	IF1.ST6.BW_QuitChannel_A	
		1	BOOL	IF1.ST6.BW_QuitChannel_B	

	2	BOOL	IF1.ST6.BW_QuitChannel_R
	3~7	-	-
9	0	BOOL	IF1.ST6.Encoder01Reset
	1~7	-	-
10	0	BOOL	IF1.ST7.BW_QuitChannel_A
	1	BOOL	IF1.ST7.BW_QuitChannel_B
	2	BOOL	IF1.ST7.BW_QuitChannel_R
	3~7	-	-
11	0	BOOL	IF1.ST7.Encoder01Reset
	1~7	-	-
12	0	BOOL	IF1.ST8.BW_QuitChannel_A
	1	BOOL	IF1.ST8.BW_QuitChannel_B
	2	BOOL	IF1.ST8.BW_QuitChannel_R
	3~7	-	-
13	0	BOOL	IF1.ST8.Encoder01Reset
	1~7	-	-
14	0	BOOL	IF1.ST9.BW_QuitChannel_A
	1	BOOL	IF1.ST9.BW_QuitChannel_B
	2	BOOL	IF1.ST9.BW_QuitChannel_R
	3~7	-	-
15	0	BOOL	IF1.ST9.Encoder01Reset
	1~7	-	-
16	0	BOOL	IF1.ST10.BW_QuitChannel_A
	1	BOOL	IF1.ST10.BW_QuitChannel_B
	2	BOOL	IF1.ST10.BW_QuitChannel_R
	3~7	-	-
17	0	BOOL	IF1.ST10.Encoder01Reset
	1~7	-	-
18	0	BOOL	IF1.ST11.BW_QuitChannel_A
	1	BOOL	IF1.ST11.BW_QuitChannel_B
	2	BOOL	IF1.ST11.BW_QuitChannel_R
	3~7	-	-
19	0	BOOL	IF1.ST11.Encoder01Reset
	1~7	-	-
20	0	BOOL	IF1.ST12.BW_QuitChannel_A
	1	BOOL	IF1.ST12.BW_QuitChannel_B
	2	BOOL	IF1.ST12.BW_QuitChannel_R
	3~7	-	-
21	0	BOOL	IF1.ST12.Encoder01Reset
	1~7	-	-

22	0	BOOL	IF1.ST13.BW_QuitChannel_A	
	1	BOOL	IF1.ST13.BW_QuitChannel_B	
	2	BOOL	IF1.ST13.BW_QuitChannel_R	
	3~7	-	-	
23	0	BOOL	IF1.ST13.Encoder01Reset	
	1~7	-	-	
24	0	BOOL	IF1.ST14.BW_QuitChannel_A	
	1	BOOL	IF1.ST14.BW_QuitChannel_B	
	2	BOOL	IF1.ST14.BW_QuitChannel_R	
	3~7	-	-	
25	0	BOOL	IF1.ST14.Encoder01Reset	
	1~7	-	-	
26	0	BOOL	IF1.ST15.BW_QuitChannel_A	
	1	BOOL	IF1.ST15.BW_QuitChannel_B	
	2	BOOL	IF1.ST15.BW_QuitChannel_R	
	3~7	-	-	
27	0	BOOL	IF1.ST15.Encoder01Reset	
	1~7	-	-	
28	0	BOOL	IF1.ST16.BW_QuitChannel_A	
	1	BOOL	IF1.ST16.BW_QuitChannel_B	
	2	BOOL	IF1.ST16.BW_QuitChannel_R	
	3~7	-	-	
29	0	BOOL	IF1.ST16.Encoder01Reset	
	1~7	-	Reserved	
30	0	BOOL	IF1.ST17.BW_QuitChannel_A	
	1	BOOL	IF1.ST17.BW_QuitChannel_B	
	2	BOOL	IF1.ST17.BW_QuitChannel_R	
	3~7	-	-	
31	0	BOOL	IF1.ST17.Encoder01Reset	
	1~7	-	-	
32	0	BOOL	IF1.STxx.Ref	原点再取得指示信号で使用します。
	1	BOOL	IF1.STxx.Preset	プリセット指示信号で使用します。
	2	BOOL	IF1.STxx.Trig	トリガ指示信号で使用します。
	3	BOOL	IF1.STxx.Start	スタート指示信号で使用します。
	4	BOOL	IF1.STxx.Pause	ポーズ指示信号で使用します。
	5	BOOL	IF1.STxx.Rsv1	予約1。“0”出力します。
	6	BOOL	IF1.STxx.Rsv2	予約2。“0”出力します。
	7	BOOL	IF1.STxx.Rsv3	予約3。“0”出力します。
33	0	BOOL	IF1.STxx.Rsv4	予約4。“0”出力します。
	1~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。

IOデータ(Input)構造詳細 (202 byte)

種別	オフセット		変数型	ラベル	備考	
	バイト	ビット				
Input	0~3	0~7	DINT	IF1.ST2.Encoder01	フレームAの計測値	
	4~7	0~7	DINT	IF1.ST3.Encoder01	フレームBの計測値	
	8~11	0~7	DINT	IF1.ST4.Encoder01	フレームCの計測値	
	12~15	0~7	DINT	IF1.ST5.Encoder01	フレームDの計測値	
	16~19	0~7	DINT	IF1.ST6.Encoder01	フレームEの計測値	
	20~23	0~7	DINT	IF1.ST7.Encoder01	フレームFの計測値	
	24~27	0~7	DINT	IF1.ST8.Encoder01	フレームGの計測値	
	28~31	0~7	DINT	IF1.ST9.Encoder01	フレームHの計測値	
	32~35	0~7	DINT	IF1.ST10.Encoder01	フレームIの計測値	
	36~39	0~7	DINT	IF1.ST11.Encoder01	フレームJの計測値	
	40~43	0~7	DINT	IF1.ST12.Encoder01	フレームKの計測値	
	44~47	0~7	DINT	IF1.ST13.Encoder01	フレームLの計測値	
	48~51	0~7	DINT	IF1.ST14.Encoder01	フレームMの計測値	
	52~55	0~7	DINT	IF1.ST15.Encoder01	フレームNの計測値	
	56~59	0~7	DINT	IF1.ST16.Encoder01	フレームOの計測値	
	60~63	0~7	DINT	IF1.ST17.Encoder01	フレームPの計測値	
	64	0	0	BOOL	IF1.ST1.StatusInput01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
1			BOOL	IF1.ST1.StatusInput02		
2~7			-	-		
65	0~7	SINT	IF1.ST1.SupplyCurrent			
66	0~7	SINT	IF1.ST1.SupplyVoltage			
67	0	0	BOOL	IF1.ST2.PowerSupply01		
		1	BOOL	IF1.ST2.PowerSupply02		
		2~7	-	-		
68	0	0	BOOL	IF1.ST2.BW_Channel_A	軸1のA相信号	
		1	BOOL	IF1.ST2.BW_Channel_B	軸1のB相信号	
		2	BOOL	IF1.ST2.BW_Channel_R	軸1のZ相信号	
		3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。	
69	0~3	-	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。	
		4	BOOL	IF1.ST2.DigitalInput01		
		5	BOOL	IF1.ST2.DigitalInput02		
		6~7	-	-		
70	0	0	BOOL	IF1.ST3.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。	
		1	BOOL	IF1.ST3.PowerSupply02		
		2~7	-	-		
71	0	0	BOOL	IF1.ST3.BW_Channel_A	軸2のA相信号	
		1	BOOL	IF1.ST3.BW_Channel_B	軸2のB相信号	

	2	BOOL	IF1.ST3.BW_Channel_R	軸2のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
72	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST3.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST3.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
73	0	BOOL	IF1.ST4.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST4.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
74	0	BOOL	IF1.ST4.BW_Channel_A	軸3のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST4.BW_Channel_B	軸3のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST4.BW_Channel_R	軸3のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
75	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST4.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST4.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
76	0	BOOL	IF1.ST5.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST5.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
77	0	BOOL	IF1.ST5.BW_Channel_A	軸4のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST5.BW_Channel_B	軸4のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST5.BW_Channel_R	軸4のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
78	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST5.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST5.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
79	0	BOOL	IF1.ST6.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST6.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
80	0	BOOL	IF1.ST6.BW_Channel_A	軸5のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST6.BW_Channel_B	軸5のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST6.BW_Channel_R	軸5のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
81	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST6.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST6.DigitalInput02	
	6~7	-	-	

82	0	BOOL	IF1.ST7.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST7.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
83	0	BOOL	IF1.ST7.BW_Channel_A	軸6のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST7.BW_Channel_B	軸6のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST7.BW_Channel_R	軸6のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
84	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST7.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST7.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
85	0	BOOL	IF1.ST8.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST8.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
86	0	BOOL	IF1.ST8.BW_Channel_A	軸7のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST8.BW_Channel_B	軸7のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST8.BW_Channel_R	軸7のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
87	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST8.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST8.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
88	0	BOOL	IF1.ST9.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST9.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
89	0	BOOL	IF1.ST9.BW_Channel_A	軸8のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST9.BW_Channel_B	軸8のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST9.BW_Channel_R	軸8のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
90	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST9.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST9.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
91	0	BOOL	IF1.ST10.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST10.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
92	0	BOOL	IF1.ST10.BW_Channel_A	軸9のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST10.BW_Channel_B	軸9のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST10.BW_Channel_R	軸9のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。

93	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST10.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST10.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
94	0	BOOL	IF1.ST11.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST11.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
95	0	BOOL	IF1.ST11.BW_Channel_A	軸10のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST11.BW_Channel_B	軸10のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST11.BW_Channel_R	軸10のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
96	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST11.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST11.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
97	0	BOOL	IF1.ST12.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST12.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
98	0	BOOL	IF1.ST12.BW_Channel_A	軸11のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST12.BW_Channel_B	軸11のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST12.BW_Channel_R	軸11のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
99	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST12.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST12.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
100	0	BOOL	IF1.ST13.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST13.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
101	0	BOOL	IF1.ST13.BW_Channel_A	軸12のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST13.BW_Channel_B	軸12のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST13.BW_Channel_R	軸12のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
102	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST13.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST13.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
103	0	BOOL	IF1.ST14.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST14.PowerSupply02	
	2~7	-	-	

104	0	BOOL	IF1.ST14.BW_Channel_A	軸13のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST14.BW_Channel_B	軸13のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST14.BW_Channel_R	軸13のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
105	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST14.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST14.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
106	0	BOOL	IF1.ST15.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST15.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
107	0	BOOL	IF1.ST15.BW_Channel_A	軸14のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST15.BW_Channel_B	軸14のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST15.BW_Channel_R	軸14のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
108	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST15.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST15.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
109	0	BOOL	IF1.ST16.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST16.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
110	0	BOOL	IF1.ST16.BW_Channel_A	軸15のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST16.BW_Channel_B	軸15のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST16.BW_Channel_R	軸15のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
111	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST16.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST16.DigitalInput02	
	6~7	-	-	
112	0	BOOL	IF1.ST17.PowerSupply01	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	1	BOOL	IF1.ST17.PowerSupply02	
	2~7	-	-	
113	0	BOOL	IF1.ST17.BW_Channel_A	軸16のA相信号
	1	BOOL	IF1.ST17.BW_Channel_B	軸16のB相信号
	2	BOOL	IF1.ST17.BW_Channel_R	軸16のZ相信号
	3~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
114	0~3	-	-	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
	4	BOOL	IF1.ST17.DigitalInput01	
	5	BOOL	IF1.ST17.DigitalInput02	
	6~7	-	-	

115	0~7	-	-	未使用の為、“0”出力します。
116	0~7	SINT	IF1.ST1.ModuleOk	MG70-PNで使用していましたが、MG80-PNでは、未使用の為、“0”出力します。
117	0~7	SINT	IF1.ST2.ModuleOk	MG80-CM 1のステータス
118	0~7	SINT	IF1.ST3.ModuleOk	MG80-CM 2のステータス
119	0~7	SINT	IF1.ST4.ModuleOk	MG80-CM 3のステータス
120	0~7	SINT	IF1.ST5.ModuleOk	MG80-CM 4のステータス
121	0~7	SINT	IF1.ST6.ModuleOk	MG80-CM 5のステータス
122	0~7	SINT	IF1.ST7.ModuleOk	MG80-CM 6のステータス
123	0~7	SINT	IF1.ST8.ModuleOk	MG80-CM 7のステータス
124	0~7	SINT	IF1.ST9.ModuleOk	MG80-CM 8のステータス
125	0~7	SINT	IF1.ST10.ModuleOk	MG80-CM 9のステータス
126	0~7	SINT	IF1.ST11.ModuleOk	MG80-CM 10のステータス
127	0~7	SINT	IF1.ST12.ModuleOk	MG80-CM 11のステータス
128	0~7	SINT	IF1.ST13.ModuleOk	MG80-CM 12のステータス
129	0~7	SINT	IF1.ST14.ModuleOk	MG80-CM 13のステータス
130	0~7	SINT	IF1.ST15.ModuleOk	MG80-CM 14のステータス
131	0~7	SINT	IF1.ST16.ModuleOk	MG80-CM 15のステータス
132	0~7	SINT	IF1.ST17.ModuleOk	MG80-CM 16のステータス
133	0~7	SINT	IF1.ST2.CompResult	フレームAのコンパレータ結果
134	0~7	SINT	IF1.ST2.OutKind	フレームAの出力種別
135	0~7	SINT	IF1.ST2.CompKumiNum	フレームAのコンパレータ組番号
136	0~7	SINT	IF1.ST3.CompResult	フレームBのコンパレータ結果
137	0~7	SINT	IF1.ST3.OutKind	フレームBの出力種別
138	0~7	SINT	IF1.ST3.CompKumiNum	フレームBのコンパレータ組番号
139	0~7	SINT	IF1.ST4.CompResult	フレームCのコンパレータ結果
140	0~7	SINT	IF1.ST4.OutKind	フレームCの出力種別
141	0~7	SINT	IF1.ST4.CompKumiNum	フレームCのコンパレータ組番号
142	0~7	SINT	IF1.ST5.CompResult	フレームDのコンパレータ結果
143	0~7	SINT	IF1.ST5.OutKind	フレームDの出力種別
144	0~7	SINT	IF1.ST5.CompKumiNum	フレームDのコンパレータ組番号
145	0~7	SINT	IF1.ST6.CompResult	フレームEのコンパレータ結果
146	0~7	SINT	IF1.ST6.OutKind	フレームEの出力種別
147	0~7	SINT	IF1.ST6.CompKumiNum	フレームEのコンパレータ組番号
148	0~7	SINT	IF1.ST7.CompResult	フレームFのコンパレータ結果
149	0~7	SINT	IF1.ST7.OutKind	フレームFの出力種別
150	0~7	SINT	IF1.ST7.CompKumiNum	フレームFのコンパレータ組番号
151	0~7	SINT	IF1.ST8.CompResult	フレームGのコンパレータ結果
152	0~7	SINT	IF1.ST8.OutKind	フレームGの出力種別
153	0~7	SINT	IF1.ST8.CompKumiNum	フレームGのコンパレータ組番号
154	0~7	SINT	IF1.ST9.CompResult	フレームHのコンパレータ結果

155	0~7	SINT	IF1.ST9.OutKind	フレームHの出力種別
156	0~7	SINT	IF1.ST9.CompKumiNum	フレームHのコンパレータ組番号
157	0~7	SINT	IF1.ST10.CompResult	フレームIのコンパレータ結果
158	0~7	SINT	IF1.ST10.OutKind	フレームIの出力種別
159	0~7	SINT	IF1.ST10.CompKumiNum	フレームIのコンパレータ組番号
160	0~7	SINT	IF1.ST11.CompResult	フレームJのコンパレータ結果
161	0~7	SINT	IF1.ST11.OutKind	フレームJの出力種別
162	0~7	SINT	IF1.ST11.CompKumiNum	フレームJのコンパレータ組番号
163	0~7	SINT	IF1.ST12.CompResult	フレームKのコンパレータ結果
164	0~7	SINT	IF1.ST12.OutKind	フレームKの出力種別
165	0~7	SINT	IF1.ST12.CompKumiNum	フレームKのコンパレータ組番号
166	0~7	SINT	IF1.ST13.CompResult	フレームLのコンパレータ結果
167	0~7	SINT	IF1.ST13.OutKind	フレームLの出力種別
168	0~7	SINT	IF1.ST13.CompKumiNum	フレームLのコンパレータ組番号
169	0~7	SINT	IF1.ST14.CompResult	フレームMのコンパレータ結果
170	0~7	SINT	IF1.ST14.OutKind	フレームMの出力種別
171	0~7	SINT	IF1.ST14.CompKumiNum	フレームMのコンパレータ組番号
172	0~7	SINT	IF1.ST15.CompResult	フレームNのコンパレータ結果
173	0~7	SINT	IF1.ST15.OutKind	フレームNの出力種別
174	0~7	SINT	IF1.ST15.CompKumiNum	フレームNのコンパレータ組番号
175	0~7	SINT	IF1.ST16.CompResult	フレームOのコンパレータ結果
176	0~7	SINT	IF1.ST16.OutKind	フレームOの出力種別
177	0~7	SINT	IF1.ST16.CompKumiNum	フレームOのコンパレータ組番号
178	0~7	SINT	IF1.ST17.CompResult	フレームPのコンパレータ結果
179	0~7	SINT	IF1.ST17.OutKind	フレームPの出力種別
180	0~7	SINT	IF1.ST17.CompKumiNum	フレームPのコンパレータ組番号
181	0~7	SINT	IF1.STxx.IoIN1	I/Oモジュール1の入力信号
182	0~7	SINT	IF1.STxx.IoOUT1	I/Oモジュール1の出力信号
183	0~7	SINT	IF1.STxx.IoIN2	I/Oモジュール2の入力信号
184	0~7	SINT	IF1.STxx.IoOUT2	I/Oモジュール2の出力信号
185~ 188	0~7	DINT	IF1.ST5.LatchNum	未使用の為、“0”出力します。
189~ 192	0~7	DINT	IF1.ST5.EncCount	未使用の為、“0”出力します。
193	0~7	SINT	IF1.ST5.LatchStatus	未使用の為、“0”出力します。
194~ 197	0~7	DINT	Reserved	未使用の為、“0”出力します。
198~ 201	0~7	DINT	Reserved	未使用の為、“0”出力します。

6.1.2. NRT(Non Real-time)通信

MG80-PN は IO コントローラ（PROFINET 機器の PLC）と任意のタイミングで TCP/IP をベースにした通信することができます。

NRT通信により、測定パラメータ変更やリセットなどの指示を行います。

以下に、送信コマンドのデータ構造を示します。

送信コマンドのデータ構造

オフセット	ラベル	項目	内容
0	INC	送信カウンタ数	コマンドを送信する毎に+1した値を設定します。
1	CMD	コマンド番号	送信するコマンド番号(Hex値)を設定します。 ※詳細は、NRT通信コマンド一覧を参照
2	RSV1	Reserved	未使用の為、“0”とします。
3	RSV2	Reserved	未使用の為、“0”とします。
4~15	DATA1 ~ DATA12	送信データ	12バイトの送信データ ※送信するコマンドにより、送信データの内容は、変化します。 ダミー部分は、“0”で埋めます。 詳細は、6.1.3. NRT通信コマンド一覧 を参照

応答データは、ヘッダ情報8Byte+応答データ16byteとなります。

以下に、応答データ構造を示します。

応答データ構造

オフセット	ラベル	項目	内容
0~7	HEAD	ヘッダ情報	8バイトのNRTヘッダ情報
8~23	DATA	応答データ	16バイトの応答データ ※送信したコマンドにより、応答データの内容は、変化します。 ダミー部分は、“0”で埋められます。

6.1.3. NRT 通信コマンド一覧

以下に、NRT通信コマンド一覧を示します。

NRT 通信コマンド一覧

コマンド番号	コマンド	送信データ概要
4(0x04)	入力分解能設定	[軸番号]、[符号]、[入力分解能設定値]
5(0x05)	入力分解能設定取得	[軸番号]
6(0x06)	原点使用設定	[軸番号]、[原点使用設定]
7(0x07)	原点使用設定取得	[軸番号]
8(0x08)	原点位置クリア指示	[軸番号]
9(0x09)	軸演算設定	[フレーム番号]、[符号]、[軸演算測長ユニット④番号]、[符号]、 [軸演算測長ユニット⑥番号]
10(0x0A)	軸演算設定取得	[フレーム番号]
11(0x0B)	出力種別設定	[フレーム番号]、[出力種別設定]
12(0x0C)	出力種別設定取得	[フレーム番号]
13(0x0D)	コンパレータ組番号設定	[フレーム番号]、[コンパレータ組番号設定]
14(0x0E)	コンパレータ組番号設定取得	[フレーム番号]
15(0x0F)	コンパレータ段数モード設定	[フレーム番号]、[コンパレータ段数モード設定]
16(0x10)	コンパレータ段数モード設定取得	[フレーム番号]
17(0x11)	コンパレータ閾値設定	[フレーム番号]、[コンパレータ組番号]、[コンパレータ段番号]、 [コンパレータ閾値設定]
18(0x12)	コンパレータ閾値設定取得	[フレーム番号]、[コンパレータ組番号]、[コンパレータ段番号]
19(0x13)	I/O機能割付け設定	[対象I/O番号]、[入出力機能種別]、[端子番号]、 [入力または出力機能設定]
20(0x14)	I/O機能割付け設定取得	[対象I/O番号]、[入出力機能種別]、[端子番号]
21(0x15)	リセット指示	[フレーム番号]
22(0x16)	プリセット値設定	[フレーム番号]、[プリセット値設定]
23(0x17)	プリセット値設定取得	[フレーム番号]
24(0x18)	プリセットコール指示	[フレーム番号]
25(0x19)	マスタープリセット値設定	[軸番号]、[マスタープリセット値設定]
26(0x1A)	マスタープリセット値設定取得	[軸番号]
27(0x1B)	マスタープリセットコール指示	[軸番号]
31(0x1F)	スタート指示	[フレーム番号]
32(0x20)	ポーズ設定	[フレーム番号]、[ポーズON/OFF設定]
33(0x21)	ポーズ設定取得	[フレーム番号]
57(0x39)	単位設定	[単位設定]
58(0x3A)	単位設定取得	-
62(0x3E)	パラメータ保存指示	-
63(0x3F)	パラメータ初期化指示	-

以下に、NRT通信コマンドの詳細を示します。

(1) 入力分解能設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)														
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。														
1	CMD	0x04														
2	RSV1	0x00														
3	RSV2	0x00														
4	DATA1	※アスキーコード														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>軸番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'~'10'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'11'~'16'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	軸番号	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46								
		軸番号	設定Hex値													
		'1'~'10'	0x30~0x39													
'11'~'16'	0x41~0x46															
5	DATA2	※アスキーコード														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>符号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'+'</td> <td>0x2B</td> </tr> <tr> <td>'-'</td> <td>0x2D</td> </tr> </tbody> </table>	符号	設定Hex値	'+'	0x2B	'-'	0x2D								
		符号	設定Hex値													
		'+'	0x2B													
'-'	0x2D															
6	DATA3	※アスキーコード														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>入力分解能</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1': 0.1μm</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2': 0.5μm</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3': 1.0μm</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4': 2.0μm</td> <td>0x34</td> </tr> <tr> <td>'5': 5.0μm</td> <td>0x35</td> </tr> <tr> <td>'6': 10.0μm</td> <td>0x36</td> </tr> </tbody> </table>	入力分解能	設定Hex値	'1': 0.1μm	0x31	'2': 0.5μm	0x32	'3': 1.0μm	0x33	'4': 2.0μm	0x34	'5': 5.0μm	0x35	'6': 10.0μm	0x36
		入力分解能	設定Hex値													
		'1': 0.1μm	0x31													
		'2': 0.5μm	0x32													
		'3': 1.0μm	0x33													
		'4': 2.0μm	0x34													
'5': 5.0μm	0x35															
'6': 10.0μm	0x36															
7~15	DATA4 ~ DATA11	ダミー 0x00														

(2) 入力分解能設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x05						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>軸番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'~'10'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'11'~'16'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	軸番号	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46
軸番号	設定Hex値							
'1'~'10'	0x30~0x39							
'11'~'16'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(3) 原点使用設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x06						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>軸番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'~'10'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'11'~'16'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	軸番号	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46
軸番号	設定Hex値							
'1'~'10'	0x30~0x39							
'11'~'16'	0x41~0x46							
5	DATA2	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>原点使用</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0': OFF</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'1': ON</td> <td>0x31</td> </tr> </tbody> </table>	原点使用	設定Hex値	'0': OFF	0x30	'1': ON	0x31
原点使用	設定Hex値							
'0': OFF	0x30							
'1': ON	0x31							
6~15	DATA3 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(4) 原点使用設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x07						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1" data-bbox="502 481 1145 607"> <thead> <tr> <th>軸番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'~'10'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'11'~'16'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	軸番号	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46
軸番号	設定Hex値							
'1'~'10'	0x30~0x39							
'11'~'16'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(5) 原点位置クリア指示コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x08						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1" data-bbox="502 1081 1126 1207"> <thead> <tr> <th>軸番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'~'10'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'11'~'16'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	軸番号	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46
軸番号	設定Hex値							
'1'~'10'	0x30~0x39							
'11'~'16'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(6) 軸演算設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)								
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。								
1	CMD	0x09								
2	RSV1	0x00								
3	RSV2	0x00								
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46		
指定フレーム番号	設定Hex値									
'A'~'J'	0x30~0x39									
'K'~'P'	0x41~0x46									
5	DATA2	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>符号1</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'+'</td> <td>0x2B</td> </tr> <tr> <td>'-'</td> <td>0x2D</td> </tr> </tbody> </table>	符号1	設定Hex値	'+'	0x2B	'-'	0x2D		
符号1	設定Hex値									
'+'	0x2B									
'-'	0x2D									
6	DATA3	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>軸演算測長ユニット Ⓐ</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'~'10'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'11'~'16'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	軸演算測長ユニット Ⓐ	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46		
軸演算測長ユニット Ⓐ	設定Hex値									
'1'~'10'	0x30~0x39									
'11'~'16'	0x41~0x46									
7	DATA4	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>符号2</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'+'</td> <td>0x2B</td> </tr> <tr> <td>'-'</td> <td>0x2D</td> </tr> <tr> <td>' '</td> <td>0x20</td> </tr> </tbody> </table> <p>軸演算測長ユニットⒶのみ（軸演算測長ユニットⒷを無効）設定にする場合は、符号2を空白(0x20)にします。</p>	符号2	設定Hex値	'+'	0x2B	'-'	0x2D	' '	0x20
符号2	設定Hex値									
'+'	0x2B									
'-'	0x2D									
' '	0x20									
8	DATA5	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>軸演算測長ユニット Ⓑ</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'~'10'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'11'~'16'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	軸演算測長ユニット Ⓑ	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46		
軸演算測長ユニット Ⓑ	設定Hex値									
'1'~'10'	0x30~0x39									
'11'~'16'	0x41~0x46									
9~15	DATA6 ~ DATA11	ダミー 0x00								

(7) 軸演算設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x0A						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(8) 出力種別設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)										
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。										
1	CMD	0x0B										
2	RSV1	0x00										
3	RSV2	0x00										
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46				
指定フレーム番号	設定Hex値											
'A'~'J'	0x30~0x39											
'K'~'P'	0x41~0x46											
5	DATA2	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>出力種別</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0': 現在値</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'1': 最大値</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2': 最小値</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3': P-P値</td> <td>0x33</td> </tr> </tbody> </table> MG70-PNの出力データは、測長ユニットから収集したパルス数です。 それらを現在値に変換するために、プログラムで計算が必要でした。 現在値=パルス数×測長ユニット分解能 MG80-PNの出力は現在値です。 MG70-PNをMG80-PNに置き換える場合は、計算プログラムを削除する必要があります。	出力種別	設定Hex値	'0': 現在値	0x30	'1': 最大値	0x31	'2': 最小値	0x32	'3': P-P値	0x33
出力種別	設定Hex値											
'0': 現在値	0x30											
'1': 最大値	0x31											
'2': 最小値	0x32											
'3': P-P値	0x33											
6~15	DATA3 ~ DATA11	ダミー 0x00										

(9) 出力種別設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x0C						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(10) コンパレータ組番号設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)																		
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。																		
1	CMD	0x0D																		
2	RSV1	0x00																		
3	RSV2	0x00																		
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46												
指定フレーム番号	設定Hex値																			
'A'~'J'	0x30~0x39																			
'K'~'P'	0x41~0x46																			
5	DATA2	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンパレータ組番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2'</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3'</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4'</td> <td>0x34</td> </tr> <tr> <td>'5'</td> <td>0x35</td> </tr> <tr> <td>'6'</td> <td>0x36</td> </tr> <tr> <td>'7'</td> <td>0x37</td> </tr> <tr> <td>'8'</td> <td>0x38</td> </tr> </tbody> </table>	コンパレータ組番号	設定Hex値	'1'	0x31	'2'	0x32	'3'	0x33	'4'	0x34	'5'	0x35	'6'	0x36	'7'	0x37	'8'	0x38
コンパレータ組番号	設定Hex値																			
'1'	0x31																			
'2'	0x32																			
'3'	0x33																			
'4'	0x34																			
'5'	0x35																			
'6'	0x36																			
'7'	0x37																			
'8'	0x38																			
6~15	DATA3 ~ DATA11	ダミー 0x00																		

(11) コンパレータ組番号設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x0E						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(12) コンパレータ段数モード設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)								
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。								
1	CMD	0x0F								
2	RSV1	0x00								
3	RSV2	0x00								
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46		
指定フレーム番号	設定Hex値									
'A'~'J'	0x30~0x39									
'K'~'P'	0x41~0x46									
5	DATA2	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンパレータ段数モード番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0': 0段</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'2': 2段</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'4': 4段</td> <td>0x34</td> </tr> </tbody> </table>	コンパレータ段数モード番号	設定Hex値	'0': 0段	0x30	'2': 2段	0x32	'4': 4段	0x34
コンパレータ段数モード番号	設定Hex値									
'0': 0段	0x30									
'2': 2段	0x32									
'4': 4段	0x34									
6~15	DATA3 ~ DATA11	ダミー 0x00								

(13) コンパレータ段数モード設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x10						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"><thead><tr><th>指定フレーム番号</th><th>設定Hex値</th></tr></thead><tbody><tr><td>'A'~'J'</td><td>0x30~0x39</td></tr><tr><td>'K'~'P'</td><td>0x41~0x46</td></tr></tbody></table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(14) コンパレータ閾値設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)																		
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。																		
1	CMD	0x11																		
2	RSV1	0x00																		
3	RSV2	0x00																		
4	DATA1	※アスキーコード																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46												
		指定フレーム番号	設定Hex値																	
		'A'~'J'	0x30~0x39																	
'K'~'P'	0x41~0x46																			
5	DATA2	※アスキーコード																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンパレータ組番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2'</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3'</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4'</td> <td>0x34</td> </tr> <tr> <td>'5'</td> <td>0x35</td> </tr> <tr> <td>'6'</td> <td>0x36</td> </tr> <tr> <td>'7'</td> <td>0x37</td> </tr> <tr> <td>'8'</td> <td>0x38</td> </tr> </tbody> </table>	コンパレータ組番号	設定Hex値	'1'	0x31	'2'	0x32	'3'	0x33	'4'	0x34	'5'	0x35	'6'	0x36	'7'	0x37	'8'	0x38
		コンパレータ組番号	設定Hex値																	
		'1'	0x31																	
		'2'	0x32																	
		'3'	0x33																	
		'4'	0x34																	
		'5'	0x35																	
		'6'	0x36																	
'7'	0x37																			
'8'	0x38																			
6	DATA3	※アスキーコード																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンパレータ段番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2'</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3'</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4'</td> <td>0x34</td> </tr> </tbody> </table>	コンパレータ段番号	設定Hex値	'1'	0x31	'2'	0x32	'3'	0x33	'4'	0x34								
		コンパレータ段番号	設定Hex値																	
		'1'	0x31																	
		'2'	0x32																	
'3'	0x33																			
'4'	0x34																			
7 ~ 10	DATA4 ~ DATA7	コンパレータ閾値 ※4Byte 整数型8桁 (ただし下4桁は小数部) のHex値 (例) +0.1 μ m → +1000 (0x3E8) -0.1 μ m → -1000 (0xFC18)																		
11~15	DATA8 ~ DATA11	ダミー 0x00																		

(15) コンパレータ閾値設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)																		
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。																		
1	CMD	0x12																		
2	RSV1	0x00																		
3	RSV2	0x00																		
4	DATA1	※アスキーコード																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46												
		指定フレーム番号	設定Hex値																	
		'A'~'J'	0x30~0x39																	
'K'~'P'	0x41~0x46																			
5	DATA2	※アスキーコード																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンパレータ組番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2'</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3'</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4'</td> <td>0x34</td> </tr> <tr> <td>'5'</td> <td>0x35</td> </tr> <tr> <td>'6'</td> <td>0x36</td> </tr> <tr> <td>'7'</td> <td>0x37</td> </tr> <tr> <td>'8'</td> <td>0x38</td> </tr> </tbody> </table>	コンパレータ組番号	設定Hex値	'1'	0x31	'2'	0x32	'3'	0x33	'4'	0x34	'5'	0x35	'6'	0x36	'7'	0x37	'8'	0x38
		コンパレータ組番号	設定Hex値																	
		'1'	0x31																	
		'2'	0x32																	
		'3'	0x33																	
		'4'	0x34																	
		'5'	0x35																	
		'6'	0x36																	
'7'	0x37																			
'8'	0x38																			
6	DATA3	※アスキーコード																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンパレータ段番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2'</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3'</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4'</td> <td>0x34</td> </tr> </tbody> </table>	コンパレータ段番号	設定Hex値	'1'	0x31	'2'	0x32	'3'	0x33	'4'	0x34								
		コンパレータ段番号	設定Hex値																	
		'1'	0x31																	
		'2'	0x32																	
'3'	0x33																			
'4'	0x34																			
7~15	DATA4 ~ DATA11	ダミー 0x00																		

(16) I/O機能割付け設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)																																		
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。																																		
1	CMD	0x13																																		
2	RSV1	0x00																																		
3	RSV2	0x00																																		
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象I/Oモジュール番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0' : IO1</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'1' : IO2</td> <td>0x31</td> </tr> </tbody> </table>	対象I/Oモジュール番号	設定Hex値	'0' : IO1	0x30	'1' : IO2	0x31																												
対象I/Oモジュール番号	設定Hex値																																			
'0' : IO1	0x30																																			
'1' : IO2	0x31																																			
5	DATA2	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>入力/出力種別</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'I' : 入力種別</td> <td>0x49</td> </tr> <tr> <td>'O' : 出力種別</td> <td>0x4F</td> </tr> </tbody> </table>	入力/出力種別	設定Hex値	'I' : 入力種別	0x49	'O' : 出力種別	0x4F																												
入力/出力種別	設定Hex値																																			
'I' : 入力種別	0x49																																			
'O' : 出力種別	0x4F																																			
6	DATA3	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>端子番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0'</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'1'</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2'</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3'</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4'</td> <td>0x34</td> </tr> <tr> <td>'5'</td> <td>0x35</td> </tr> <tr> <td>'6'</td> <td>0x36</td> </tr> <tr> <td>'7'</td> <td>0x37</td> </tr> </tbody> </table>	端子番号	設定Hex値	'0'	0x30	'1'	0x31	'2'	0x32	'3'	0x33	'4'	0x34	'5'	0x35	'6'	0x36	'7'	0x37																
端子番号	設定Hex値																																			
'0'	0x30																																			
'1'	0x31																																			
'2'	0x32																																			
'3'	0x33																																			
'4'	0x34																																			
'5'	0x35																																			
'6'	0x36																																			
'7'	0x37																																			
7	DATA4	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>入力機能種別</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0' : Addr0</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'1' : Addr1</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2' : Addr2</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3' : Addr3</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4' : Dreq</td> <td>0x34</td> </tr> <tr> <td>'5' : Comp0</td> <td>0x35</td> </tr> <tr> <td>'6' : Comp1</td> <td>0x36</td> </tr> <tr> <td>'7' : Comp2</td> <td>0x37</td> </tr> <tr> <td>'8' : Reset</td> <td>0x38</td> </tr> <tr> <td>'9' : Preset</td> <td>0x39</td> </tr> <tr> <td>'A' : Reset_org</td> <td>0x41</td> </tr> <tr> <td>'B' : Mode0</td> <td>0x42</td> </tr> <tr> <td>'C' : Mode1</td> <td>0x43</td> </tr> <tr> <td>'D' : Start</td> <td>0x44</td> </tr> <tr> <td>'E' : Pause</td> <td>0x45</td> </tr> <tr> <td>'X' : No_Func</td> <td>0x58</td> </tr> </tbody> </table>	入力機能種別	設定Hex値	'0' : Addr0	0x30	'1' : Addr1	0x31	'2' : Addr2	0x32	'3' : Addr3	0x33	'4' : Dreq	0x34	'5' : Comp0	0x35	'6' : Comp1	0x36	'7' : Comp2	0x37	'8' : Reset	0x38	'9' : Preset	0x39	'A' : Reset_org	0x41	'B' : Mode0	0x42	'C' : Mode1	0x43	'D' : Start	0x44	'E' : Pause	0x45	'X' : No_Func	0x58
入力機能種別	設定Hex値																																			
'0' : Addr0	0x30																																			
'1' : Addr1	0x31																																			
'2' : Addr2	0x32																																			
'3' : Addr3	0x33																																			
'4' : Dreq	0x34																																			
'5' : Comp0	0x35																																			
'6' : Comp1	0x36																																			
'7' : Comp2	0x37																																			
'8' : Reset	0x38																																			
'9' : Preset	0x39																																			
'A' : Reset_org	0x41																																			
'B' : Mode0	0x42																																			
'C' : Mode1	0x43																																			
'D' : Start	0x44																																			
'E' : Pause	0x45																																			
'X' : No_Func	0x58																																			

		※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>出力機能種別</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0' : Drdy</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'1' : Comp_out0</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2' : Comp_out1</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3' : Comp_out2</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4' : Comp_out3</td> <td>0x34</td> </tr> <tr> <td>'5' : Comp_out4</td> <td>0x35</td> </tr> <tr> <td>'6' : Alarm</td> <td>0x36</td> </tr> <tr> <td>'7' : Org_pass</td> <td>0x37</td> </tr> <tr> <td>'X' : No_Func</td> <td>0x58</td> </tr> </tbody> </table>	出力機能種別	設定Hex値	'0' : Drdy	0x30	'1' : Comp_out0	0x31	'2' : Comp_out1	0x32	'3' : Comp_out2	0x33	'4' : Comp_out3	0x34	'5' : Comp_out4	0x35	'6' : Alarm	0x36	'7' : Org_pass	0x37	'X' : No_Func	0x58
出力機能種別	設定Hex値																					
'0' : Drdy	0x30																					
'1' : Comp_out0	0x31																					
'2' : Comp_out1	0x32																					
'3' : Comp_out2	0x33																					
'4' : Comp_out3	0x34																					
'5' : Comp_out4	0x35																					
'6' : Alarm	0x36																					
'7' : Org_pass	0x37																					
'X' : No_Func	0x58																					
8~15	DATA5 ~ DATA11	ダミー 0x00																				

(17) I/O機能割付け設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)																		
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。																		
1	CMD	0x14																		
2	RSV1	0x00																		
3	RSV2	0x00																		
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象I/Oモジュール番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0': IO1</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'1': IO2</td> <td>0x31</td> </tr> </tbody> </table>	対象I/Oモジュール番号	設定Hex値	'0': IO1	0x30	'1': IO2	0x31												
対象I/Oモジュール番号	設定Hex値																			
'0': IO1	0x30																			
'1': IO2	0x31																			
5	DATA2	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>入力/出力機能種別</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'I': 入力機能</td> <td>0x49</td> </tr> <tr> <td>'O': 出力機能</td> <td>0x4F</td> </tr> </tbody> </table>	入力/出力機能種別	設定Hex値	'I': 入力機能	0x49	'O': 出力機能	0x4F												
入力/出力機能種別	設定Hex値																			
'I': 入力機能	0x49																			
'O': 出力機能	0x4F																			
6	DATA3	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>端子番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0'</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'1'</td> <td>0x31</td> </tr> <tr> <td>'2'</td> <td>0x32</td> </tr> <tr> <td>'3'</td> <td>0x33</td> </tr> <tr> <td>'4'</td> <td>0x34</td> </tr> <tr> <td>'5'</td> <td>0x35</td> </tr> <tr> <td>'6'</td> <td>0x36</td> </tr> <tr> <td>'7'</td> <td>0x37</td> </tr> </tbody> </table>	端子番号	設定Hex値	'0'	0x30	'1'	0x31	'2'	0x32	'3'	0x33	'4'	0x34	'5'	0x35	'6'	0x36	'7'	0x37
端子番号	設定Hex値																			
'0'	0x30																			
'1'	0x31																			
'2'	0x32																			
'3'	0x33																			
'4'	0x34																			
'5'	0x35																			
'6'	0x36																			
'7'	0x37																			
7~15	DATA4 ~ DATA11	ダミー 0x00																		

(18) リセット指示コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x15						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(19) プリセット値設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x16						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5 ~ 8	DATA2 ~ DATA5	プリセット値※4Byte 整数型8桁（ただし下4桁は小数部）の設定Hex値 (例) +0.1 μ m → +1000(0x3E8) -0.1 μ m → -1000(0xFC18)						
11~15	DATA6 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(20) プリセット値設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x17						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"><thead><tr><th>指定フレーム番号</th><th>設定Hex値</th></tr></thead><tbody><tr><td>'A'~'J'</td><td>0x30~0x39</td></tr><tr><td>'K'~'P'</td><td>0x41~0x46</td></tr></tbody></table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(21) プリセットコール指示コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x18						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"><thead><tr><th>指定フレーム番号</th><th>設定Hex値</th></tr></thead><tbody><tr><td>'A'~'J'</td><td>0x30~0x39</td></tr><tr><td>'K'~'P'</td><td>0x41~0x46</td></tr></tbody></table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(22) マスタープリセット値設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x19						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>軸番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'~'10'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'11'~'16'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	軸番号	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46
軸番号	設定Hex値							
'1'~'10'	0x30~0x39							
'11'~'16'	0x41~0x46							
5 ~ 8	DATA2 ~ DATA5	マスタープリセット値※4Byte 整数型8桁（ただし下4桁は小数部）の設定Hex値 (例) +0.1μm → +1000(0x3E8) -0.1μm → -1000(0xFC18)						
11~15	DATA6 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(23) マスタープリセット値設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x1A						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>軸番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'1'~'10'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'11'~'16'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	軸番号	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46
軸番号	設定Hex値							
'1'~'10'	0x30~0x39							
'11'~'16'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(24) マスタープリセットコール指示コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x1B						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"><thead><tr><th>軸番号</th><th>設定Hex値</th></tr></thead><tbody><tr><td>'1'~'10'</td><td>0x30~0x39</td></tr><tr><td>'11'~'16'</td><td>0x41~0x46</td></tr></tbody></table>	軸番号	設定Hex値	'1'~'10'	0x30~0x39	'11'~'16'	0x41~0x46
軸番号	設定Hex値							
'1'~'10'	0x30~0x39							
'11'~'16'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(25) スタート指示コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x1F						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"><thead><tr><th>指定フレーム番号</th><th>設定Hex値</th></tr></thead><tbody><tr><td>'A'~'J'</td><td>0x30~0x39</td></tr><tr><td>'K'~'P'</td><td>0x41~0x46</td></tr></tbody></table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(26) ポーズ設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x20						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5	DATA2	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>ポーズON/OFF設定</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'0': OFF</td> <td>0x30</td> </tr> <tr> <td>'1': ON</td> <td>0x31</td> </tr> </tbody> </table>	ポーズON/OFF設定	設定Hex値	'0': OFF	0x30	'1': ON	0x31
ポーズON/OFF設定	設定Hex値							
'0': OFF	0x30							
'1': ON	0x31							
6~15	DATA3 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(27) ポーズ設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)						
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。						
1	CMD	0x21						
2	RSV1	0x00						
3	RSV2	0x00						
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"> <thead> <tr> <th>指定フレーム番号</th> <th>設定Hex値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>'A'~'J'</td> <td>0x30~0x39</td> </tr> <tr> <td>'K'~'P'</td> <td>0x41~0x46</td> </tr> </tbody> </table>	指定フレーム番号	設定Hex値	'A'~'J'	0x30~0x39	'K'~'P'	0x41~0x46
指定フレーム番号	設定Hex値							
'A'~'J'	0x30~0x39							
'K'~'P'	0x41~0x46							
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00						

(28) 単位設定コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)				
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。				
1	CMD	0x39				
2	RSV1	0x00				
3	RSV2	0x00				
4	DATA1	※アスキーコード <table border="1"><thead><tr><th>単位設定</th><th>設定Hex値</th></tr></thead><tbody><tr><td>'0' : mm</td><td>0x30</td></tr></tbody></table>	単位設定	設定Hex値	'0' : mm	0x30
単位設定	設定Hex値					
'0' : mm	0x30					
5~15	DATA2 ~ DATA11	ダミー 0x00				

(29) 単位設定取得コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。
1	CMD	0x3A
2	RSV1	0x00
3	RSV2	0x00
4~15	DATA1 ~ DATA11	ダミー 0x00

(30) パラメータ保存指示コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。
1	CMD	0x3E
2	RSV1	0x00
3	RSV2	0x00
4~15	DATA1 ~ DATA11	ダミー 0x00

(31) パラメータ初期化指示コマンド

オフセット	ラベル	設定値(Hex)
0	INC	前回送信時の値と異なる任意の値を入れてください。
1	CMD	0x3F
2	RSV1	0x00
3	RSV2	0x00
4~15	DATA1 ~ DATA11	ダミー 0x00

7. 付録

7.1. パラメーター一覧

運用パラメーター一覧表

項目		設定値(アスキーコード)		下限	上限	デフォルト	
ネットワーク情報		IP アドレス		0x00000000	0xFFFFFFFF	0xC0A86401	
		サブネットマスク		0x00000000	0xFFFFFFFF	0xFFFFFFFF00	
		デフォルトゲートウェイ		0x00000000	0xFFFFFFFF	0xC0A864FE	
		Reserved		-	-	-	
入力分解能		符号	+	プラス方向	+	-	+
			-	マイナス方向			
	測長ユニット1 ～ 測長ユニット 16	分解能	1	0.1um	1	6	1
			2	0.5um			
			3	1.0um			
			4	2.0um			
			5	5.0um			
			6	10.0um			
		原点使用	0	OFF	0	1	0
			1	ON			
出力	フレーム A ～ フレーム P	対象値	0	現在値	0	3	0
			1	最大値			
			2	最小値			
			3	P-P 値			

項目		設定値(アスキーコード)		下限	上限	デフォルト	
軸演算	フレーム A ～ フレーム P	軸演算測長ユニット④の符号	+	プラス符号	+	-	+
			-	マイナス符号			
		軸演算測長ユニット④ No	0	測長ユニット 1 の値	0	F	フレーム番号と同じ値
			1	測長ユニット 2 の値			
			2	測長ユニット 3 の値			
			3	測長ユニット 4 の値			
			4	測長ユニット 5 の値			
			5	測長ユニット 6 の値			
			6	測長ユニット 7 の値			
			7	測長ユニット 8 の値			
			8	測長ユニット 9 の値			
			9	測長ユニット 10 の値			
			A	測長ユニット 11 の値			
			B	測長ユニット 12 の値			
			C	測長ユニット 13 の値			
			D	測長ユニット 14 の値			
			E	測長ユニット 15 の値			
			F	測長ユニット 16 の値			
		軸演算測長ユニット⑤の符号	+	プラス符号	+	-	+
			-	マイナス符号			
		軸演算測長ユニット⑤ No	0	測長ユニット 1 の値	0	F	空白
			1	測長ユニット 2 の値			
			2	測長ユニット 3 の値			
			3	測長ユニット 4 の値			
			4	測長ユニット 5 の値			
			5	測長ユニット 6 の値			
			6	測長ユニット 7 の値			
			7	測長ユニット 8 の値			
			8	測長ユニット 9 の値			
			9	測長ユニット 10 の値			
			A	測長ユニット 11 の値			
			B	測長ユニット 12 の値			
C	測長ユニット 13 の値						
D	測長ユニット 14 の値						
E	測長ユニット 15 の値						
F	測長ユニット 16 の値						

項目			設定値(アスキーコード)		下限	上限	デフォルト
コンパレータ設定	フレーム A ～ フレーム P	コンパレータ 組番号	1	1 組	1	8	1
			2	2 組			
			3	3 組			
			4	4 組			
			5	5 組			
			6	6 組			
			7	7 組			
			8	8 組			
		モード	0	なし	0	2	0
			1	2 段			
			2	4 段			
		組 1～組 8 の コンパレータ閾 値	段 1	コンパレート閾値 1	-99999999	99999999	0
			段 2	コンパレート閾値 2			
段 3	コンパレート閾値 3						
段 4	コンパレート閾値 4						
I/O	IO1～IO2	ビット毎の 入力機能 ビット 0～ ビット 7	0	対象 ID(bit0)	0	X	X
			1	対象 ID(bit1)			
			2	対象 ID(bit2)			
			3	対象 ID(bit3)			
			4	データリクエスト信号			
			5	コンパレータ組(bit0)			
			6	コンパレータ組(bit1)			
			7	コンパレータ組(bit2)			
			8	リセットコマンド			
			9	プリセットコールコマンド			
			A	原点再取得			
			B	出力値モード(bit0)			
			C	出力値モード(bit1)			
			D	スタート信号			
		E	ポーズ信号				
		X	機能なし				
		ビット毎の 出力機能 ビット 0～ ビット 7	0	データレディ信号	0	7	X
			1	コンパレート領域 0			
			2	コンパレート領域 1			
			3	コンパレート領域 2			
4	コンパレート領域 3						
5	コンパレート領域 4						
6	アラーム出力						
7	原点通過フラグ						
X	機能なし						

項目			設定値(アスキーコード)		下限	上限	デフォルト
プリセット	フレーム A ～ フレーム P	フレーム毎のプリセット	プリセット値		-99999999	99999999	0
マスタープリセット	測長ユニット 1 ～ 測長ユニット 16	測長ユニット毎の プリセット	マスタープリセット値		-99999999	99999999	0
ポーズ	フレーム A ～ フレーム P	フレーム毎のポーズ	0	ポーズ OFF	0	1	0
			1	ポーズ ON			

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。したがって、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守など）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

The material contained in this manual consists of information that is the property of Magnescale Co., Ltd. and is intended solely for use by the purchasers of the equipment described in this manual. Magnescale Co., Ltd. expressly prohibits the duplication of any portion of this manual or the use thereof for any purpose other than the operation or maintenance of the equipment described in this manual without the express written permission of Magnescale Co., Ltd.

Le matériel contenu dans ce manuel consiste en informations qui sont la propriété de Magnescale Co., Ltd. et sont destinées exclusivement à l'usage des acquéreurs de l'équipement décrit dans ce manuel.

Magnescale Co., Ltd. interdit formellement la copie de quelque partie que ce soit de ce manuel ou son emploi pour tout autre but que des opérations ou entretiens de l'équipement à moins d'une permission écrite de Magnescale Co., Ltd.

Die in dieser Anleitung enthaltenen Informationen sind Eigentum von Magnescale Co., Ltd. und sind ausschließlich für den Gebrauch durch den Käufer der in dieser Anleitung beschriebenen Ausrüstung bestimmt.

Magnescale Co., Ltd. untersagt ausdrücklich die Vervielfältigung jeglicher Teile dieser Anleitung oder den Gebrauch derselben für irgendeinen anderen Zweck als die Bedienung oder Wartung der in dieser Anleitung beschriebenen Ausrüstung ohne ausdrückliche schriftliche Erlaubnis von Magnescale Co., Ltd.

日本からの輸出時における注意

本製品(および技術)は輸出令別表第1の16の項(外為令別表16の項)に該当します。キャッチオール規制による経済産業省の許可要否につきましては、輸出者様にてご確認ください。

For foreign customers

Note: This product (or technology) may be restricted by the government in your country. Please make sure that end-use, end user and country of destination of this product do not violate your local government regulation.

株式会社マグネスケール

〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川45